

10 日間の学び

藍住中学校 若月 湊

「合格した！」私はポストを開けて合格通知を見た時、うれしくてたまりませんでした。オーストラリアに行くまでは、英会話のレッスンに通ったり、使いそうな文をメモ帳にまとめたりと自分なりに頑張りました。英語が通じるかという不安はありましたが、それ以上に楽しみの気持ちの方が大きくなり、あっという間に当日を迎えました。



羽田空港からシドニー空港までの長い時間を飛行機で過ごし、やっとのことでシドニーに到着しました。外に出ると日本と季節が逆の冬なので少し肌寒かったです。初日はオペラハウスや市内観光がありました。外観は何かで見たことがありましたが、オペラハウスの中にも入ることができて、私はその迫力に圧倒されました。午後はホストファミリーと対面しました。家はとてもきれいで広く、1階を自由にに使わせてくれました。ホストファミリーはとても優しく、料理がすごく美味しくて、毎日ご飯の時間が待ち遠しかったです。オーストラリアの食べ物を楽しみにしていましたが、どのお店よりもホストマザーのご飯が1番でした。犬が2匹いていつもおもちゃを投げてほしがってアピールしてきたり、とてもいやされました。会話は、文法を考える暇はないのになんとかで言ってみたり、時にはジェスチャーも加えたりすると思っていたより伝わってうれしかったです。

伝えたいという気持ちや仲良くなりたいという気持ちが大事なんだと学びました。1つ驚かれた事があったのですが、それは私たちが毎日髪を洗うことでした。オーストラリアは空気が乾燥しているので、シャンプーはあ



まり髪に良くないそうです。日本との生活習慣の違いを知ることができました。2日目は、不安だった学校へ行きました。まず驚いたことはすれ違う人の誰もが手を振ってくれたり声をかけてくれたりと、すごくフレンドリーだったことです。とても馴染みやすく気持ちが楽になりました。日本と違う所は、授業中にお菓子をくれたり食べたり出来る所や、自由な席で授業を受けられる所、それから学校にコスプレをしてくる行事があった所です。日本より自由な所が多いなと感じました。私が1番楽しかったのは学校で、なによりもバディの子と色々な話をするのが楽しかったです。一緒にバレーをしたり、お土産を渡すと物凄くよろこんでくれたり、学校が終わるとハグしてくれたり、本当にあっという間に最終日になりました。最後の日みんなでいっぱいピザを食べて日本の文化についてクイズを出しました。けん玉ですごく盛り上がった後にみんなで阿波踊りを踊りました。バディの子たちに手紙をあげたり写真を撮ったりしていると、お別れがさみしくなってみんなで泣きながら全員にハグしました。また絶対にバディの子達に会いに行きたいです。

今回の海外派遣で学校面や生活面の違いを知ることができましたが、私は国民性の違いも感じました。コミュニケーションを取る時とてもフレンドリーで、皆に分け隔てなく声かけをしたりハグをしたり、嬉しい時は思い切り表情や声に出して喜んでくれます。私もそうなのですが、日本はオーストラリアと比べると控え目な気がしました。とてもいい所だと思ったので、これから見習っていきたいと思っています。そして私はこの貴重な経験を生かしてもっと英語を上達させたいと思いました。そのためにまずは、英検3級を取りたいという目標ができました。

一生の宝物をありがとうございました。

